

平成17年
(2005年) 12月1日



市の花・つつじ 市の木・もくせい 市の鳥・ジュウカ

No.700

広報

横田基地演習日程変更	2面
平成16年度決算	3面
障害者のある方のための施策	4・5面
税を考える書道展入選作	6面
輪飾りづくりのワークショップ	7面
年末年始のごみ収集日程	8面

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表)

福生市のホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

育てよう 一人ひとりの 人権意識

考えてみませんか

身近なことから人権を

「世界人権宣言」は1948年12月10日に国際連合で採択され、この日を「人権デー」と決めました。そこで、12月4日から10日までを「人権週間」とし、広く皆さんに「人権デー」の意義を訴え、るとともに人権意識の高揚を図ります。

第57回人権週間12月4日～10日

「第57回人権週間」の強調テーマ

- 1 男女共同参画社会の実現を図ろう→女性と男性が対等の立場で協力し、責任も分かち合うことが大切です。
- 2 子どもの人権を守ろう→子どもの人権をめぐる問題は深刻な状況にあります。子どもも一人人として最大限に尊重されなければならないということを大人が自覚しなければなりません。
- 3 高齢者を大切にすることを育てよう→自立した一人人として生きがいの持てる生活ができるように接することが重要です。
- 4 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう→ 障害のある人、ない人が対等に生活・活動できる社会にしていけることが大切です。
- 5 同和問題を正しく理解し、偏見、差別をなくそう→意識を見つめ直し、自らを啓発していくことが必要です。
- 6 アイヌの人々に対する理解を深めよう→その文化を維持し、尊厳を尊重することが大切です。
- 7 外国人に対する偏見、差別をなくそう→外国人の持つ文化や多様性を受け入れ、尊重することが国際社会の一員として望めます。
- 8 エイズ、ハンセン病等に対する偏見、差別をなくそう→問題を真っ向から見つめ、正

しい知識や認識を持つ必要があります。
9 刑を終えて出所した人に対する偏見、差別をなくそう→更生には、本人の強い意欲とともに、周囲の人々の理解と協力が必要です。



一人ひとりを大切に

- 10 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう→行き過ぎた報道によるプライバシーの侵害や名誉毀損などが発生しています。一層の理解と配慮が望まれます。
- 11 インターネットを悪用した人権侵害は止めよう→利用する人は、個人の名誉を始めとする人権に関する正しい理解が必要です。
- 12 性的指向を理由とする偏見、差別をなくそう→ 同性愛者など少数派の性的指向の人に対する偏見は根強く、社会生活の様々な人権問題が発生しています。
- 13 ホームレスに対する偏見、差別をなくそう→ホームレスと近隣住民、双方の人権に配慮しつつ、ホームレスの自立の支援をしていくことが必要です。
- 14 性同一性障害を理由とする偏見、差別をなくそう→正しい理解を深め、偏見・差別をなくすことが必要です。

「人権身の上相談」

毎日の生活を営む上でお困りのことや人権上の問題については、お近くの人権擁護委員にお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は守られます。

相談日時 毎月第1水曜日午後1時30分～4時30分

場所 商工会館2階会議室

人権擁護委員 石川好男、中西弘、井上悦子

問合せ 秘書広報課市民相談係

平成17年度人権週間行事 トーク&コンサートと 映画の集い

日時 12月7日(水)午後1時～4時30分※開場は午後0時30分 場所 アミューたちかわ大ホール(立川市錦町3-3-20) ☎526・1311 ※入場無料 定員 1,400人 ※申込み不要。直接会場へ(先着順)。

内容 ◆ 館野泉氏「ピアノ演奏とトーク」(右半身不随になりながらも、左手での演奏活動を続けるピアニスト)
◆ 人権問題啓発映画「機関車先生」(字幕入り。口のきけない先生と生徒の勇気と成長の物語) その他 託児室(要予約)・手話通訳・パソコン要約筆記あり

問合せ 東京都総務局人権部 ☎03・5388・2588、東京法務局人権擁護部 ☎03・5689・0516、立川市行政管理部総務課 ☎528・4306



問合せ 議会事務局庶務係

22日(木)までの予定です。本会議並びに各委員会の傍聴はどなたにもできますので、お気軽にどうぞ。
議会を傍聴しましょう
平成17年第4回福生市議会定例会は、12月7日(水)から

自治体の自立、すなわち自分(たち)のまちは自分(たち)で創る時代の中で、情報の共有は不可欠だからです。
まちづくりの課題に対して、同じ情報を持ち、議論しあう、そして結論を出し、ともに協力してまちを創っていくことを協働と言いますが、今はその過程にあります。どれだけ本気で、この過程に参画してくれる人がいるかでまちが変わってしまい、自分(たち)が幸せに生活できるかどうかが決まっています。
市は、今後も広報、ホームページ等で、できるだけ情報を発信していきます。ご覧になって話し合いの参考にしていただき、いろいろと意見等をお寄せいただきたいと思います。そのことが広報をさらに充実したものにしていくことになりまますから。
広報等を基礎に、何でも市役所にお問い合わせ、ご相談ください。

広報700号

福生市長野澤久人



幼稚園児の皆さんの訪問を受けました

福生市のホームページアドレスは <http://www.city.fussa.tokyo.jp/> です